

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者 等の在宅生活の継続」と「心身の機 能の維持回復」を実現するため、事 業所独自の理念を掲げている		○			事業所理念として 「感謝する心を持ち笑顔を忘 れない」「謙虚な心を持ち常に 学び続ける」「共感する心を持 ち相手の立場になり考える」と 掲げ、申し送りの際唱和を行っ ている。	日々の業務の中で、事業所理 念を職員一人ひとりが把握す る努力をし、サービスの質の向 上に努めている。
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のた めの取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの 特徴および事業所の理念につい て、その内容を十分に認識している		○			サービス内容、提供の特徴と 理念について、定期的な研修 や日々の業務の中で、確認を 行う機会を設けている。継続し て理解を深めていきたい。	併設の事業所と連携を図り、そ れぞれの業務内容の把握や研 修会への参加により、当該 サービスの特徴や理念を理解 するように努めている。
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、 随時対応時のオペレーターの判断 能力など)の向上のため、職員を育 成するための具体的な仕組みの構 築や、法人内外の研修を受ける機 会等を確保している		○			コロナの影響で職員会議が中 止となっているが、資料を配布 し報告書の提出を義務付け専 門技術向上につなげている。 来年度は外部研修の参加を職 員に呼びかけていく。	職員一人ひとりが自己研鑽で きる仕組みを作り、専門技術を 向上させるような取り組みをし ている。研修会等の積極的な 開催や参加が期待される。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				職員の実務年数や能力、利用者の状態などを考慮し勤務配置を行っている。また業務に合わせ役割分担を行っている。	経験豊富な職員をリーダー的存在として配置し、職員の不安などを軽減できるような取り組みを行っている。職員が役割を担うことでやりがいを持てるよう努力している。
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			連携事業所である当法人の訪問看護事業所と常に相互に報告・連絡・相談が行える環境、体制となっている。	当該サービスの職員だけでなく、連携事業所の看護師・介護士が同ホール内にいることですぐに情報を共有できるような取り組みを行っている。
(3) 適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			サービス利用が多い時間帯に人員配置を厚くするなどの対応を柔軟に行っている。また、業務内容(個別ケアの工夫)を行い、24時間随時対応を行える体制も整えている。	外部の利用者と内部の利用者へのサービス提供の調整を行い、柔軟な対応や個別ケアの提供ができるように工夫している。
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			今年度9月、文書にて介護・医療連携推進会議行う。推進委員の方より地域の情報やご意見を頂き、サービス提供へ反映させられるよう対応を行っている。	左記の通り、実施されている。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				日々の申し送りに加え、PCシステム及びタブレット端末により利用者の情報や状態、訪問状況等の確認を行うことができ共有している。	個人情報や日々の記録は一括管理されており、個人情報管理に考慮しながら、看護師・介護士が共有できる環境を整えている。
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)			○		外部への訪問については、車両運行規程に則り安全運転を心がけ、事故なく経過している。災害・防災訓練は年に2回計画しているが今年度は施設内クラスターが2度あり、1回のみ開催となっている。衛生推進者を配置し、職員の安全確保に努めている。	職員の安全確保や災害時の対応について、定期的な訓練を計画している。訓練は1回となったが、その他の対策は出ている。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている		○			個人情報の利用の範囲については、利用者・身元保証人の同意を得て利用している。個人情報保護マニュアルの共有と、法令遵守規程の承認により、個人情報の適正な取り扱いと保護に努めている。個人情報・法令遵守について、年1回研修を実施している。	左記の通り、実施されている。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			利用者様の状態や生活歴、本人の希望を含め、ご本人とご家族の気持ちに配慮した提案をおこなっている。状態変化や状況に応じ、随時検討、提案を行っている。	日々変化する利用者の心身の状態を多職種の職員が協働でアセスメントを行っている。また、自立支援に向けて計画的に支援する取り組みをしている。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			日常的な手助けの必要性、介助方法、体調面の管理や医療処置など、看護からの情報提供と相談を行うなど、協力関係を構築している。毎月の看護アセスメント、定期的なフェイスシートなどの個人シートの更新を行っている。	定期的に多職種が協働でアセスメントを行い、看護・介護が共有した情報で利用者1人ひとりにあった支援を提供できるように取り組んでいる。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			自立支援の精神を元に計画作成を行っている。計画達成時は見直し時を適宜行っている。	心身機能の維持回復を目標とした計画を作成し、定期的にモニタリングし、見直しをしている。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			居宅計画書に沿い、今後の変化を予測し、必要な支援を考慮しながら先を見越した計画作成を心がけている。	看護師を中心として利用者一人ひとりの医学的なリスクを予見し、計画を作成して管理している。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				サービス提供開始前に体調不良や受診などで予定変更があった場合は随時対応させて頂く旨を説明し、提供日時を変更し、柔軟に対応している。利用者の要望から訪問回数を増やし対応している。	本人、家族の意向に沿い、地域密着型サービスならではの柔軟できめ細やかなサービスを提供している。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			サービス提供を通じて利用者様の状況確認を実施しながら把握に努めており、自立支援の精神を元に、計画書への反映も実施している。	モニタリングにより把握した利用者の心身の変化を担当ケアマネジャーに報告し、課題や目標の見直しを提案している。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている		○			サービス実施前に、介護職・看護職にて相談を実施し、連携を図りながら内容によって役割分担を行いながらサービス提供を実施している。(サービス担当者会議、施設内カンファレンス)	看護・介護など多職種によるカンファレンスを開催し、適切なアセスメントをすることで専門性を活かしたサービスを提供できるよう努めている。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				日々の申し送りや、利用者様の状態に応じて体調の変化、夜間の連絡体制等についても看護職より指示・指導を行っている。施設内にいることにより密に連携を図っている。また共有の情報ツールを活用し指導、助言を行っている。	左記の通り、実施されている。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			サービス開始前の契約の際に、書面と口頭にて説明を実施し、同意を得て契約を行っている。またサービス内容については随時家族へ報告を行っている。	サービス開始前に重要事項の説明やサービス内容の説明を丁寧に行っている。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価 (Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			サービス担当者会議にて目標及びその内容について確認を実施し、尚且つ計画書を提示して、説明を行い同意を得て交付している。	左記の通り、実施されている。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			その都度、状況や変化について、電話連絡を実施したり、面会時に情報提供を行い、相談も実施、サービス提供の変更を行っている。	利用者一人ひとりの状況の変化を見逃さず、本人、家族へサービス内容の変更等の提案をしている。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		○			状況や変化について担当ケアマネジャーに連絡を行い、必要に応じてサービス内容についての相談を実施しながら対応を行っている。	左記の通り、実施されている。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている				○	有料老人ホームの中でのサービス提供が中心となっている為、インフォーマルサービスの活用等ができていない現状。コロナ禍が落ち着き、今後地域との関わり、関係構築が課題である。	今後、課題解決に向けて地域との積極的なかかわりが持てるような取り組みをお願いしたい。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			サービス担当者会議や月1回の状況報告を行いながら対応を実施している。また会議内での決定事項や内容については申し送りや情報ツールを活用し、多職種への情報提供を行っている。	左記の通り、実施されている。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)				○	現在は対象となり得るサービスがない為実施していないが、今後必要に応じて対応を実施していく。	今後は事業所内のみのサービスにとどまらず、社会資源等を組み入れることができるように検討してほしい。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		○			スムーズにサービス提供を行う事が出来る様、事前に居宅ケアマネジャーや病院と連絡、連携を図り、担当者会議に参加して検討や情報の共有を図っている。	左記の通り、実施されている。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)		○			事業を通し、介護・看護・ケアマネジャーが共同してサポートする体制は整えている。ケースによっては役割や連携の方法を検討していく事が可能である。	左記の通り、実施されている。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				市介護保険課への速やかな提出と事業所内への掲示を行い、誰でも見ることのできるような対応を行っている。	左記の通り、実施されている。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			ホームページ上の情報の更新、市介護保険課、地域包括センター、居宅介護支援事業所にパンフレットを配布し広報周知を行っている。更に積極的に広報活動を行う必要性がある。	地域で唯一の当該サービスのため、関係機関だけでなく住民へ積極的に情報発信するなど、さらなる広報活動を期待したい。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			地域包括ケアシステムの構築に向けた市の取り組みに対し、当事業所が協力可能な範囲で出来る限りの支援を行っていく方針としている。	連携している各サービスを柔軟に組み合わせて利用できるようにすることで、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいる。
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		○			在宅へ向けてのサービス提供も行っているが、現状においては施設入所者へのサービスが中心となっている。相談があった場合は早期に対応していく。	地域住民が地域で安心して生活を継続するための要となる事業所となるよう、積極的に地域へ活動を広げてもらいたい。
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている <u>(※任意評価項目)</u>				○	地域で安心して暮らせるまちづくりに積極的な協力を行っていきたい。	地域に根差した事業所として活動を広げ、地域の課題を発見できる重要な役割を担っていただきたい。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
Ⅲ 結果評価(Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			居宅の計画書に沿って、サービス提供を実施し、目標達成に向けて対応を実施している。	左記の通り、実施されている。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			定期、随時での訪問介護、連携訪問看護事業所の訪問により、体調面から精神面まで安心感を得られるサービス内容を実践している。また利用者家族からも安心して利用できるとお言葉を頂く事が多い。	連携している事業所の全職員が利用者をよく把握しており、安心してサービスを受けられる体制を整えている。同建物だけでなく地域の在宅生活者が安心感を得られるような体制作りに努めてほしい。